

SUNSHINE

第65号 2012年 7月発行
 有限会社 太陽開発
 鹿児島市荒田2丁目43-19 TEL099-255-3623
 E-Mail master91@taiyou1991.com
 URL http://www.taiyou1991.com/



太陽開発 検索 クリック!!

賃貸マンション(オーナー様)をご紹介します!

今回ご紹介させていただきます、マンションのオーナー様は、高麗町、下荒田、紫原などにマンションを持っていらっしゃる、竹本様です。竹本様は、関西のご出身で前職での営業時代にご転勤で鹿児島にこられたとのこと。その後、鹿児島でマンションをご購入され、賃貸のオーナー業を始められました。休日には、魚釣りやゴルフなどを楽しんでおられ、以前は少年団でソフトボールの指導のお手伝いもされているなど、とてもアクティブな方です。今回は紫原にあります【パルティール紫原】についてご紹介させていただきます。こちらのマンションは、タイヨーやファミリーマートまでも近く、生活しやすい立地条件となっております。間取りは2Kでして、お一人暮らしでも、お二人でも過ごせる広さがございます。今回のご紹介では、全然書ききれませんので、次回も竹本様のご紹介をさせていただきます!!

パルティール紫原 オーナー：竹本様



今月の一冊 ぼくと1ルピーの神様

No.64

ヴィカス・スワラップ

インド北部ウッタル・プラデーシュ州生まれ。弁護士の家庭に育つ。アラハバード大学で歴史学、心理学、哲学を学んだ後、外交官となり、トルコ、アメリカ、エチオピア、イギリスに赴任。現在は南アフリカのプレトリアに赴任中。デビュー作となる本著は37ヶ国語に翻訳され、全世界で絶賛された。ダニー・ホイル監督によって映画化され、アカデミー賞を初めとして、50以上の映画賞を受賞し話題に。

この小説は、インドの作家、ヴィカス・スワラップの処女作『Q and A』(2005)の翻訳です。本書はまずイギリスで出版されてたちまち評判となり、これまで37ヶ国語に翻訳されています。2008年には『スラムドック\$ミリオンア』のタイトルでイギリスのダニー・ホイル監督によって映画化され、日本でも2009年に公開されました。主人公のラム・ムハマド・トマスは、ムンバイにあるアジア最大のスラム、ダラウイに暮らす18歳のウェーターです。物語は、13の質問を順にふりかえり、トマスがなぜ正しい答えを知っていたのかを解き明かす形で進んでいきます。それとともに、政治腐敗、貧困層と富裕層の大きな経済格差、虐待、売春、ヒンドゥー教とイスラム教の宗教対立など、現代のインドが抱えるさまざまな問題も明らかになっていきます。本書の最大の魅力は、自分の頭と両手と両足以外何も持たないトマスが、知恵と機転で人生を切り開いていく姿にあるのではないかと思います。逆境をバネに生き延びるしたたかさ、現実的なたくましさ、常に前向きに突き進んでいくエネルギー。そして自分自身をちょっと離れたところから見つめる醒めた視線と、不運さえ笑い飛ばせるユーモア精神。トマスの姿には、どこかインドの国そのものを思わせるところがあります。目まぐるしく変化するトマスの18年間を追ううちに、インドが持つ清濁ともにのみこんでしまうような懐のふかさやエネルギーの大きさが、何となく感じられるのではないのでしょうか。(記者・子安亜弥氏あとがきより抜粋)

クイズ番組でみごと全問正解し、史上最高額の賞金を勝ちとった少年ラム。警察は、孤児で教養のない少年が難問に答えられるはずがないと、不正の容疑で逮捕する。しかし奇跡には理由があった…。殺人、強奪、幼児虐待…インドの貧しい生活のなかで、少年が死と隣りあわせで目にしてきたもの。それは、偶然にもクイズの答えであり、他に選びようのなかった、たった一つの人生の答えだった。話題の映画『スラムドック\$ミリオンア』原作、待望の文庫化! (ランダムハウス講談社・文庫本ブックカバーより引用)

4回に渡りインド関連の作品をご紹介してきましたが、今回の「ぼくと1ルピーの神様」は本当に面白い!とどうぞ一度読んでみて下さい。映画もお薦めです。

炭火やきとり とりのすけ



今回ご紹介させていただきます居酒屋さんは騎射場電停から歩いて2分の場所にあります『とりのすけ』さん。メニューの中の約280品、食べ放題＆飲み放題が売りの『とりのすけ』さん!!(料理は90分、飲物105分でオーダーストップ)しかもどんなに食べても飲んででも¥3,300と学生さんやサラリーマンの方々にもとても経済的★「出来る事は何でもやります!!!」をモットーに、満足・満腹を提供できるお店作りを!と大将。3ヶ月に一度は、メニューの見直しと新メニューを考案し続け、オープン当初200品だったメニューが今では300品に!看板メニューは「備長炭」を使って炭火で焼く、とり串!私は、もも(タレ)が最高に美味しかったです。他にも大将おススメなのが自家製のタルタルソースで頂く「チキン南蛮」や、「やみつき手羽先」と、「ポテ明太チーズ」も!!「やみつき手羽先」はその名の通り、やみつきになる美味しさでした♪とにかく、食べ放題だからと言っても、お残しは許しまへんで~!メニュー選びに迷ったらメニュー名の頭に【大人気】【定番】【まいうー】のいずれか書かれてるメニューを参考に選ばれてみて下さい。さらに!!焼酎好きの方には、「こだわりのプレミアム焼酎」が、100種類以上あります~!オーナーさんが集めた焼酎を、大特価で提供しています☆ぜひぜひ!!お試くださいあ~い!!取材の日は、約2時間半お店で食事をさせて頂いたのですが、入った時から、お店を出るまで、大将をはじめとするスタッフの方々が、とにかく元気で、明るいです!!★私も、まだ20代!スタッフの方々の元気さ、明るさを見習った接客をしていきたいです。。。[田淵]

【出来る事は何でもやります!!!】



〒890-0054
 鹿児島市荒田2丁目42番15号
 TEL 099-250-3450
 営業時間 17:30~翌2:00
 (ラストオーダー 1:30)

~守屋の遺跡探訪~

みなさん「幸加木神社」ってご存知ですか?私は鹿児島市内に住んでけっこう長いのですが初めて知りました。先日、社長の川越と二人で小野町に看板の設置と物件の写真撮りに行きました。私の車は大きいので看板や荷物がたくさん積めるのです。(笑)看板を設置し終わって写真を撮って「帰るのかな」と思っていたら、社長から「車のカギは閉めた?」と聞かれたので、元気よく「開いています!」と答えたところ、「カギを閉めてきなさい」と言われ、私は「?」な状態のまま、カギを閉め、社長の後をついていきました。「別なアングルから写真を撮るのかな」と思いながら行くとそこに「幸加木神社」がありました。さらに奥には滝が2本流れていて、とても神秘的な空間でなんだか癒されました。社長の話によると、ここには武道の神様が祀られているそうです。今まで30年間、「武」の道を歩んだ事はありませんが、神様には違いないので(失礼かな?)お参りをし写真を撮らせて頂きました。近くには「木村探元」のお墓もあり、ちょっと寄ってきました。私は木村探元と言う名前を知らなかったのですが、事務所に戻って調べてみたら、見たことのある絵が何枚か出てきました。有名な絵描きさんだったみたいです。(9月30日まで黎明館で「薩摩の絵師 木村探元の魅力」開催中)まだまだ知らない事が多いなと思った反面、いろいろと興味がわいてきたので、鹿児島市内にある神社や、偉人(?)のお墓などを仕事中に発見したら寄って調べてみようと思いました。また、みなさんのおすすめスポットなどがありましたら、そっと教えて下さい。(笑)スペースの関係上、今回も内容が薄くて申し訳ありません(涙)私の何気ない一日の話を最後まで読んで頂きましてありがとうございました。また、機会があれば書かせて頂きますので、その時も楽しんで読んで頂けると光栄です。[守屋]

